（研究機関の名称：広島市立広島市民病院）

現在、当院整形外科で実施している研究へご協力のお願い

１．研究課題名

一次前十字靱帯再建術症例における内側半月板後節損傷と冠状面アライメントの関連：CPAK framework を用いた多機関共同後ろ向き観察研究

２．対象となる方

2018 年 1 月～2025 年 12 月に、広島市立広島市民病院又は広島大学病院の整形外科で、膝の前十字靱帯（ぜんじゅうじじんたい）損傷に対して、はじめての前十字靱帯再建術を受けられた患者さん

３．研究の目的

膝の前十字靱帯を損傷すると、同時に半月板（はんげつばん）や軟骨も傷んでいることがあります。特に内側半月板の後ろ側（後節・後角）の損傷は、膝のぐらつきや将来の膝の変形（変形性膝関節症）に関係する可能性があります。一方、脚の並び（アライメント）には個人差があり、立った状態で撮影した脚全体のレントゲン写真から数値として評価することができます。この研究では、手術の前後に撮影した立位全下肢レントゲン写真から脚の並びを計測し、それが手術中に確認された内側半月板後節損傷とどのように関係しているかを、複数の医療機関のデータを統合して調べます。脚の並びから半月板損傷を受けやすい方をあらかじめ見分けることができれば、手術前のご説明、手術中の確認、手術後の経過観察の計画に役立つと考えています。

４．研究期間

2026 年 10 月（倫理審査委員会承認後）～2028 年 3 月 31 日（予定）

５．研究に使用する情報の種類

診療情報等：年齢、性別、身長、体重、患側、けがをされた日と状況、スポーツの種目、手術日、手術の内容（再建方法、使用した腱の種類など）、手術中に確認された半月板および軟骨の状態とその処置、手術前後に撮影したレントゲン画像・MRI 画像および画像から計測した数値、膝関節の可動域　等。各施設で個人を直接特定できる情報を削除し、研究用 ID を付けたうえで解析します。

６．研究組織

広島市立広島市民病院 整形外科、広島大学病院 整形外科による多機関共同研究です。代表機関は広島市立広島市民病院です。

７．研究責任者

広島市立広島市民病院　整形外科　医師　橋口　直史

８．お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て、共同研究機関の必要な手続きを経たうえで実施します。

この研究に使用する情報は、各施設で匿名化処理を行い、患者さんを直接特定できないようにしたうえで使用します。対応表は各施設で管理し、研究用データには氏名、診療録番号、生年月日などの直接識別子は含めません。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。広島大学病院で治療を受けられた方は、同院の研究担当窓口にもお申し出いただけます。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒７３０－８５１８　広島市中区基町７番３３号

電話　（０８２）２２１－２２９１（代表）

広島市立広島市民病院看護部

（担当）整形外科　橋口　直史